

平成 26 年度 社会福祉法人マキバの会 事業計画

平成 26 年度においては、想定される数名のターミナルケアの方がいる。当施設のターミナルケア指針に従い本人、家族、医療関係者、当スタッフがより満足のいく崇高な形を目指して取り組んでいきたい。実践の中から、新たな気付きについては見直し、細則制定していけるように丁寧な実践に心掛けたいと考える。

元気な利用者さんについては、これまでの暮らしの延長を意識して、畑を広げて自給を高め、収穫を喜び調理して味わうこと。地域の行事に参加する機会を多くもち、暮らしがより喜び深いものになるように計画実行する。開設当初から実践してきたつもりのこれらの事ではあるが、ひとつひとつを意識して実践する一年にしたいと考える。

また、施設運営に係る諸経費がすべて値上がりしている昨今において、賢く工夫し節約するなど、全てにおいて見直しをしながら進めていくことに心掛ける。一步踏みとどまって考えるような、落ち着いた一年にしたいと考えている。

1 事業運営

地域社会の介護サービスに対するニーズに応えるため、以下の事業の運営をする。

- ① 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- ② 通所介護（共用型デイサービス）

2 基本理念

- ・自然な笑顔を創り出す
- ・最後まで変わらぬ暮らしを

3 運営方針

- ・情報の共有
- ・介護技術の向上、確かな技術の習得
- ・心に寄り添う姿勢と感情の共感
- ・静かに行動

法人

会議の開催と審議内容予定

- 第 69 回理事会（平成 26 年 5 月） 平成 24 年度事業報告、決算の承認
- 第 70 回理事会（平成 26 年 7 月） 中間報告他
- 第 71 回理事会（平成 26 年 12 月） 指導監査報告、補正予算案等
- 第 72 回理事会（平成 27 年 3 月） 平成 27 年度事業予算案、事業計画

案

岩手県指導監査（県庁地域福祉課） 10 月頃
運営推進会議（4 月 6 月 8 月 10 月 12 月 2 月）

グループホーム事業

基本理念の遂行に向け、スタッフには施設内外の研修に参加する機会を多く提供し、倫理観の育成や介護技術の向上に努める。また、施設長はスタッフ一人ひとりの健康面に注意を向けて適宜面談を行い、そのフォローに心掛ける。

更に、防災訓練を定期的に行った上、マニュアルの確認や見直し、備品の点検を実施していくことに努める。

定期会議

サービス事業所代表者会議（西和賀町）	年 2 回
介護支援専門員連絡会議（包括支援センター）	年 6 回
包括ケア会議（包括支援センター）	毎月 1 回
スタッフ会議（施設内）	毎月 1 回

研修

福祉研究発表（11 月）に向けての取り組み
労働安定センターより出前研修
岩手県グループホーム協会研修参加
日本認知症グループホーム協会研修参加
スタッフ勉強会
防災訓練
感染症予防研修

資格取得支援

介護福祉士 1名

防災訓練

- ・夜間想定火災震災対応（4月、6月、10月、12月、2月）
- ・昼間想定火災震災対応（5月、7月、9月、11月）
- ・総合避難訓練（消防署立ち合い2回）

法定点検

- ・消防器具点検（ダイトク）
- ・浄化槽管理（西和賀衛生社）

自主点検

- ・防災グッズの点検（水、米、調味料、薬、燃料等の補充点検）
- ・ボイラー点検（湯田機械）
- ・水道水質点検
- ・電源差込点検

健康管理

- ・利用者の健康維持管理
体調不良時は、家族と相談し、決定していく
- ・スタッフ健康管理
健康診断
適宜面談

共用型ディサービス

送迎時の安全運転に留意し、本人の体調管理も行いながら継続していく。
西和賀町保健福祉課やケアマネージャーと連携を取りながら、衛生管理や
家族の意識改革にも協力していく。